

ちびっこ冒険ひろば

# ちび冒通信

第1号

2017年度 秋

緑児童館の「ちびっこ冒険ひろば」（通称ちび冒）も3年目を迎えました。3年目にして“ようやく！”なのか、“いまさら！”なのか・・・わかりませんが、「ちび冒」の大切にしていることや子どもたちの生き生き遊ぶ様子などを発信していきますので、楽しみにしてください♪

ちび冒は緑児童館の格言「遊びは生きる力じゃない！生きてる証だ！！」をモットーに子どもたちが自由にやりたいことを思う存分やれる場所です。

・・・ということとは？

そうです、大人たちは子どもの遊びを邪魔するようなことをしてはいけません（ニヤリ）余計な声かけや子ども同士のコミュニケーション（大人からはケンカのようにも見える）の邪魔はしないこと♪これが、なかなか、そう、難しいものなのです。余計なこと言いたくなりそうなとき、子ども同士のハラハラドキドキを見ていられないときは、どうぞスタッフに声をかけてください。一緒におしゃべりしながら見守りましょう♪

秋から冬は子どものカラダと心がググッと成長する時期です。森に探検行ったり、斜面を転がったり、季節関係なく水遊びしたり・・・いろんな遊びが展開されます。毎週木曜日を楽しみに♪



## ひなちゃんのつぶやき

### 0～3歳児は天才！無限の好奇心を育てよう

0～3歳の子どもの大人と違い、脳のすべてが使われているそうです。

脳では意識、無意識それぞれの役割を果たす箇所が割り当てられていますが、それらすべてが活動しているというのですから、それはもう好奇心を抑えられないのはわかりそうなものですよ。

赤ちゃんは手に取ったものなんでも口の中へ入れたがります。それは口の中がもっとも敏感だからです。脳がフル回転し、たくさんの情報を得ようとする本能にもとづく行動なのでしょう。

箱からティッシュを次々に取り出す子どもに、大人は困ってしまいます。でも、それはまた箱に戻せばいいだけです。子どもはまた同じようにティッシュを取り出すでしょう。

そのとき、ティッシュを出し切った箱の底にペットボトルのふたでもなんでもいいので入れておくんです。すると、前回とは違う結果に「お?!」とひらめきが

得られ、脳ではシナプスがブワッと発達するんですって。

子どものやりたがることは中断せずにとことんさせてあげられるといいですね。

## スタッフ紹介 ゆりちゃん♡

10月からスタッフとして参加させていただく友理です。

3人の子育て真っ只中です。

ついこの間まで子どもと遊びにきていた大好きな場所で、たくさんの方に出会えるのをワクワクしています。

子育てのなかで悩み迷う気持ちを頼りあい、助けあえるようなあたたかくてホッとできる場所であり『森の中に探検に行きたい！』『芝生の坂を転がってみたい！』などなど子どもたちが目を輝かせて冒険できる場所つくりをみなさんと一緒にできたらいいなと楽しみにしています。

## 主催 緑児童館

名古屋市緑区相原郷

Tel/Fax : 052 - 623 - 9656

<http://www2.odn.ne.jp/midorijidoukan/>

E-mail : m-jidoukan@smile.odn.ne.jp

